

## 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全

### ○歴史が息づく古都の町並み

京都の市街地：東西南北に延びる道路が碁盤目のように交差  
→平安京の道路網が現在まで引き継がれている

京都と奈良：8世紀以降、平安京や平城京の都が置かれる  
→政治や文化の中心であったことから、「古都」とよばれる

清水寺や東大寺が世界遺産に登録される  
重要文化財に指定された建物や絵画、彫刻などが残る  
西陣織などの( にしじんおり )の生産が盛ん  
祇園祭などの伝統文化が息づく  
ぎおんまつり  
→多くの観光客が訪れ、外国人観光客も急増

### ○古都の景観の保全に向けて

京都と奈良：第二次大戦中の被害が少なく、伝統的な街並みが残る  
→高層の建物が建設され、歴史的景観がしだいに失われつつある  
→古都の歴史と伝統を後世に受け継ぐための取り組みが行われる  
例) 京都市：建物の高さやデザインを整える、電線を地中に埋めるなど  
奈良市：伝統的な外観は保ち、建物の内部を改装して利用